

姫路市公共施設等総合管理計画（案）に関する
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

1 募集期間及び意見総数

- (1) 募集期間：令和7年12月23日（火）～令和8年1月23日（金）
 (2) 意見総数：417通432件

2 市民意見の内容

項 目	件 数
計画全体に関するもの	4件
第1章 計画の概要及びこれまでの取組	—
第2章 公共施設等の現状及び将来見通し	1件
第3章 公共施設等の管理に関する基本方針	6件
第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（公共建築物）	420件
第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（社会基盤施設）	1件
合計	432件

3 意見の概要及び市の考え方

番号	意見（概要）	件数	意見に対する市の考え方	頁	反映
計画全体に関するもの					
1	公共施設の統合計画については、地域に出向いて生の声をしっかり聴きとって頂きたい。 姫路市からの押しつけではなく、地域の意見を汲み取った計画を期待したい。	1	公共建築物の統廃合等の際には、自治会及び利用者団体等の利害関係者の皆様への説明機会を設け、計画案について説明し、計画内容にご理解いただけるよう努めます。	—	

2	<p>計画全体を通じて、財政・延床面積・老朽化・LCC が中心に議論されている。</p> <p>今回のパブリック・コメントにおいても、情報が届きにくい子どもや若者においては、意見表明できる機会は非常に少ないと考えられるため、青少年施設等の利用については、利用者・当事者からの意見聴取の機会を設けて議論していく必要があるのではないかと。</p> <p>人口減少社会において、将来の担い手の負担にならないように、子ども若者からのニーズ調査や意見聴取などもプロセスにおいて含んでいただきたい。</p>	1	<p>公共建築物の統廃合等の際には、自治会及び利用者団体等の利害関係者の皆様への説明機会を設け、計画案について説明し、計画内容にご理解いただけるよう努めます。</p> <p>また、統廃合等に係る計画案の策定にあたっては、利害関係者に加え、子ども・若者にも、意見を聴きながら進めていくことも検討してまいります。</p>	-
---	---	---	--	---

第2章 公共施設等の現状及び将来見通し

3	<p>今回の将来更新費用推計試算結果は、令和4年改定時の推計を2～3割も上回っている。</p> <p>建設費が高騰しているにしても、推計方法について一切説明がなく、妥当性を検証することができない。</p> <p>総務省が推奨する更新費用試算ソフトを用いたものと推測するが、他都市では総務省ソフトは費用が高く出る傾向があると実情に合わせて検証した結果、費用が大幅に縮小した例もあり、当市においても個別施設の実情を反映しながら現実的な費用を積み上げて検証すべきものとする。</p> <p>納税者一人一人の財産と生活環境に直結する議論の前提となるデータであるため、誠実に丁寧な検証を行って、結果を開示していただきたい。</p>	1	<p>将来更新費用推計試算につきましては、現計画（令和4年10月改定）では、策定時（平成28年3月）に総務省の公共施設等更新費用試算ソフトを用いて算出した将来更新費用推計値を掲載しております。</p> <p>今回の計画案では、同様の試算ソフトは使用せず、改修・更新等に係る費用につきましては、各施設の床面積に過去の実績を基に算出した改修・更新単価を乗じて算出し、また、各施設の築年数や構造等の状況を踏まえて、改修・更新時期を設定したうえで、40年間に生じる改修・更新等に係る費用を積み上げたものを将来更新費用推計値としております。</p>	19
---	--	---	---	----

第3章 公共施設等の管理に関する基本方針

4	<p>公共建築物等の目指す姿の記述に「文化的・歴史的価値を尊重しつつ」あるいは「歴史資産としての価値の観点を尊重しつつ」等の記述が必要ではないか。</p> <p>個々の施設によってはその観点からの改修・存続を目指す必要もあると思う。</p> <p>各論の美術館などにはその観点からの記述があるが、総論にも加えるべきと考える。</p>	1	<p>公共建築物の目指す姿につきましては、維持保全費用の負担や人口減少社会等の公共建築物を取り巻く背景を踏まえ、公共建築物を再編していく際に目指す姿を掲載しており、計画に掲載する全公共建築物を対象としております。</p> <p>そのため、施設が有する価値等の観点につきましては、各施設種別の方向性において記載をすることとしております。</p>	22	
5	<p>地方から人が来てもらえるよう、コンパクト化を図るのではなく、受け皿としてできるだけ施設を保持してほしい。</p>	1	<p>すべての公共建築物を今後も現状の規模で維持していく場合、改修や更新を含む維持保全費用が財政を圧迫し、適切な行政運営が困難となるおそれがあります。</p> <p>持続可能な行財政運営のために、公共建築物の総量を削減していくことは喫緊の課題となっております。</p> <p>将来にわたり持続可能な公共施設等サービスの最適化を図るとともに、時代に即した公共施設等への転換を進めるため、「創造と交流を生む施設」という公共施設としての目指す姿を設定しております。</p> <p>目指す姿の実現に向けて、公共建築物の再編に取り組んでまいります。</p>	22	
6	<p>公共建築物の床面積総量の削減目標値に関しては、根拠が示されていないが、根拠のない目標値は削除すべきである。</p> <p>公共施設総合管理計画は、必要な行政のサービス水準を維持しながら財政負担を維持可能な範囲にとどめるためにあらゆる施策を総動員するための手段とし導入されたものであり、総務省の指針においても「前提として」「あるべき行政サービス水準を検討することが望ましい」としている。</p> <p>本計画案では、このサービス水準に関する見解を示していないと思う。</p> <p>施設量の削減だけが目的となっているように見受けられる。</p>	1	<p>公共建築物の床面積総量の削減目標値は、人口推計及び改修・更新経費推計から現在の投資額水準(過去5年間整備費平均)を比較した場合の不足する経費を踏まえて算出しております。</p> <p>現在の投資額水準の範囲内で、各施設の改修・更新費用を充足できることが望ましいと考えており、必要な行政サービス水準を維持しながら、投資額水準の範囲内に収まるように、床面積の削減を行っていくことが必要であると考えております。</p>	23	

7	<p>公共建築物の管理に関する基本方針に、「区分所有建物での施設運営は原則禁止」を追加すべきであると思う。</p> <p>区分所有建物に関しては、他の区分所有者との関係から適切な維持管理・更新が行えないリスクが存在する。</p> <p>施設の維持管理・更新費用の最適化を図る観点からは、市がイニシアティブをもって維持管理・更新ができることは極めて重要であり、そのようなリスクのある区分所有建物での施設運営は廃止・縮小すべきである。</p>	1	<p>区分所有建築物につきましては、施設ごとに設置目的や所在する地域の状況等の特性が異なるため、各施設の特性に応じて適切な運営方法を検討していくべきものと考えております。</p> <p>頂いたご意見につきましては、区分所有建築物の今後の方向性を検討する際に参考とさせていただきます。</p>	24	
8	<p>国から地方に資金投入されるように、国に対してしっかりと声を上げてほしい。</p>	1	<p>公共建築物の整備にあたっては、国や県の補助金のほか、国の地方財政措置を有効に活用できるよう検討を行っております。</p> <p>特に、施設の複合化・集約化やこれらに伴う除却に際しては、公共施設等適正管理推進事業債を有効に活用いたします。</p>	25	
9	<p>「保有する土地等の活用や処分に関する基本方針」について、できるだけ民間に売却するのではなく、用途廃止施設や未利用地等は市民が自由に利用できるスペースとして開放してほしい。</p> <p>具体的には、広場や運動場、公園、ドッグランなどが考えられる。</p>	1	<p>用途廃止された施設や未利用地等の普通財産につきましては、土地・建物の特性を踏まえ、売却、貸付又は他の行政需要への転用等を適切に選択することとしております。</p> <p>市民の皆様が自由に利用できるスペースにつきましても、土地・建物の特性に応じて検討してまいります。</p>	29	
第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（公共建築物）					
10	<p>公民館等は、維持管理が大変であると思うが、災害や地域コミュニケーションを考えて利便性向上を行い、地域に密着した施設への展開をお願いしたい。</p>	1	<p>公民館の改修・更新にあたっては、「市立公民館大規模改修における方針」に基づき、引き続き施設の長寿命化に取り組むとともに、地域にとってより利便性の高い施設となるよう他の公共施設等との複合化を検討してまいります。</p>	36	

11	<p>地区の市民センターの必要性を感じる事があまりないと考えられるため、公民館、地区の市民センターは合わせて統合の対象とすべきと考える。</p>	1	<p>他の周辺公共施設等の複合化・集約化を含む今後の市民センターのあり方につきましては、令和11年度に策定を予定している、市民センターの再編実行計画の中で検討したいと考えております。</p>	38
12	<p>中央市民センターの廃止に関して、類似の機能を備えた市民会館とも隣接していることが理由の一つに挙げられていたが、市民会館は既に廃止の方針が示されている。</p> <p>市の示した方針は矛盾しているように見受けられるため、中央市民センターは現施設の存続または代替施設の整備と改めるなど、方針の再検討が不可欠であると思う。</p>	1	<p>令和6年度に策定した姫路市市民会館・地区市民センターの個別実施計画におきまして、「市民会館の現在の建物は、老朽化が著しいことから、大規模改修は行わず取り壊しを前提とし、取り壊しの時期や機能の存廃については、今後の施設利用状況、施設の安全性、設備の劣化状況、及び本市の財政状況等を見ながら引き続き検討していく」旨が記載されており、一方、「中央市民センターは廃止し、市民会館・花の北市民広場・城乾市民センター・イーグレひめじ等の既存施設の有効活用を図る」旨を記載しております。</p> <p>個別実施計画策定時点では、市民会館における機能の存続の可能性も踏まえ、中央市民センター廃止後の活用先の一つとして検討しておりましたが、計画策定後の市民会館の機能の存廃に係る検討により市民会館の廃止が決定したものでございます。</p> <p>これらの経緯を踏まえ、公共施設等総合管理計画において、中央市民センターの方向性を記載しております。</p>	38
13	<p>姫路市すこやかセンター存続の要望</p> <p>(利用者は高齢者(70代~80代後半)が多く、プール歩行、水泳及びジムで毎日運動をする等、いきいきと活動している。</p> <p>また、利用者の中には一人暮らしの方も多く、引きこもりの状態の方でも、施設を来訪の上、軽く運動をするほか、利用者同士で話をして友達になることもあり、楽しんでいる人も多くみられる。</p> <p>以上のことから、引き続き施設の存続を要望する。)</p>	408	<p>姫路市すこやかセンター1階の健康づくり施設につきましては、利用者の皆さまの健康づくりや交流の場として親しまれていることは承知しておりますが、民間類似施設が充実してきたことや、利用形態として、定期券購入者が延べ利用者数の約3/4を占めており、実購入者数も734名と限られた方となっている中で、歳出超過額が多額であり、今後25年間で維持・運営するために必要なコストに見合わない状況でございます。</p> <p>また、同センター2階の老人福祉センターにつきましては、高齢者の生きがいづくりや、社会参加・孤独孤</p>	54

		<p>立防止等のほか、老人クラブに対する援助の役割も果たしておりますが、一般登園者の実利用者数の推計は約 800 人で、60 歳以上人口の 0.5% を下回り、老人クラブ会員を対象とした校区登園利用者も、年々減少傾向にある等、十分な役割を果たせていない状況でございます。</p> <p>以上を踏まえまして、現在の指定管理期間が終了する令和 9 年度末での廃止が妥当と判断いたしました。</p> <p>現在、すこやかセンターを利用されている方々につきましては、類似の民間施設の利用のほか、公共施設の活用を促すなど、丁寧な説明に努めてまいります。</p> <p>急速に進む高齢化社会においては、高齢者にとって身近な場所で、健康づくりや活動に取り組む「通いの場」の充実が重要となっていると考えておりますので、今後は既存の公共施設を活用するなど、身近に通える元気になる地域拠点づくりに重点を置いて取り組んでまいります。</p> <p>これらの方針決定に伴い、以下のとおり修正いたします。</p> <p>【計画の修正】</p> <p>(4) 高齢者福祉施設 P54</p> <p>(旧) 建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、今後のあり方を検討します。</p> <p>(新) <u>令和 9 年度末をもって廃止することとし、既存の公共施設を活用するなど、高齢者が身近に通え、健康づくりや活動に取り組める、元気になる地域拠点づくりに重点を置き、関係局で連携を図りながら検討します。</u></p>
--	--	---

14	<p>放課後児童クラブ卒業後の中高生・若者世代の支援施設等が記載されていないと思われる。学習・交流・相談機能をどのような場所に機能させていくのか、明確に示していく必要があるのではないか。</p> <p>児童館・児童センターについては、現状、児童期の子どもが中心となっており、集約化・複合化が示されている中で、中高生世代・若者世代への利用拡大が可能な根拠や工夫等も踏まえて提示したほうがよい。</p>	1	<p>中・高校生世代の支援に関する方策につきましては、令和8年度に策定を予定している、児童館・児童センターの再編実行計画の中で検討したいと考えております。</p>	52	
15	<p>児童センター等については、「集約化・複合化」という形になっているが、青少年の利用については、基本的には、徒歩・自転車圏でのアクセスが中心であると考えられる。</p> <p>「交通利便性の向上や中・高校生世代の利用拡大」という記述もあるが、利便性を向上しても、青少年が自主的に参加できる機会は低下することが予想される。</p> <p>青少年に関する施設については、「効率化」だけでなく、①利用者（子ども・若者）のアクセシビリティ、②地域差・校区差への配慮を評価軸に入れるべきではないか。</p>	1	<p>中・高校生世代の支援施設に関する方策につきましては、令和8年度に策定を予定している、児童館・児童センターの再編実行計画の中で、アクセシビリティや地域差・校区差への配慮等も含めた検討を行いたいと考えております。</p>	52	
16	<p>市営住宅は、外観・内装・エレベーター・耐震対策を総合的に検討するほか、リフォームなどにより長期間使用願いたい。</p>	1	<p>市営住宅の管理手法につきましては、本市では「姫路市住宅計画」にて、市営住宅の整備・活用手法の精査と推進に関して基本的な考え方を示し、かつ「姫路市公営住宅等長寿命化計画」において、住棟ごとに老朽度、耐震性、改修の履歴、立地条件や需要等を個別に検討し、必要な管理手法を選定しております。</p> <p>頂いたご意見のとおり、耐用年数を勘案しながら、良好な住環境を維持できるように、これらの計画に基づき建替、改善改修、維持管理等の判断をさせていただきます。</p>	58	

17	<p>青少年センターの機能については、</p> <p>①学校・家庭以外の第三の居場所</p> <p>②不登校・ひきこもり・孤立予防</p> <p>③若者の自主活動・交流・参画の拠点</p> <p>などを担ってきており、総合計画でも、青少年センターの機能について記載がされているため、単なる施設廃止ではなく、「機能継承」の具体策（複合化・分散配置・民間連携等）を明示すべきではないか。</p>	1	<p>青少年センターにつきましては、市民会館の廃止時期にあわせ廃止し、若者の居場所確保等の必要な機能については、関係局で連携を図りながら検討していくことを予定しております。</p> <p>ご意見を踏まえて、当該施設の必要な機能につきましては今後検討していくことが分かるように下記のとおり修正いたします。</p> <p>【計画の修正】</p> <p>(5) 教育等施設 P66</p> <p>(旧)現在入居している市民会館の廃止にあわせて令和8年度末をもって廃止します。</p> <p>(新)現在入居している市民会館の廃止にあわせて令和8年度末をもって廃止することとし、<u>若者の居場所確保等の必要な機能については、関係局で連携を図りながら検討します。</u></p>	66	○
18	<p>野外活動施設については、平成27年度以降8施設から2施設に削減されており、今回の計画でも1施設が検討とされている。</p> <p>「利用状況や地域におけるニーズ等」を踏まえと記載されているが、野外活動における非認知能力や社会性・自己肯定感の向上などの効果も検証されるべきかと考えている。</p> <p>利用状況だけではなく、青少年施策の一環として位置づけ直す必要があるのではないか。</p>	1	<p>野外活動施設の効果につきましては、今後あり方の検討を行う中で検証していきたいと考えております。</p>	66	

19	<p>荒川南小学校について、本当に必要なのか。</p> <p>荒川小学校の生徒数について現時点では人数が多いが、新たな小学校建設を回避する方法は他にないのか。</p> <p>例えば、グラウンド一つ減らすことにより地域の結びつきが減るほか、スポーツができる場所が減る。</p> <p>学校を建てるよりもその予算でスクールバス等の手配ができると思う。</p> <p>人数が少ない学校もあるのではないか。</p> <p>そこに行く方が、人数も増えて良いと言える在校生もいるのではないか。</p> <p>税金を使うことより今あるところを工夫して変えていかないといけないところに来ているような気がする。</p>	1	<p>児童数増加への対応につきましては、施設整備以外の手法も含めて検討を行うことが重要であると認識しております。</p> <p>荒川小学校につきましては、年々児童数が増加し、現在、33学級（特別支援学級を除く）となっており、仮校舎により教室数を確保している状況にあります。本市では、「姫路市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき学校では1学校の学級数が1校12学級から24学級を望ましい学校規模としております。</p> <p>このような状況の中、荒川小学校区周辺では、英賀保駅周辺土地区画整理事業や手柄山平和公園駅整備などの開発事業が進み、児童数の推計においても過大規模化への対応が必要なことから、南部地域において市が所有する玉手用地に小学校を新たに建設することといたしました。</p>	-	
----	--	---	---	---	--

20	<p>令和5年度の個別実施計画は、利用者及び地元への説明と合意を経ることなく作成されたものであり、この計画を前提とした計画には同意できないため、中央支所の整備方針に関して、ゼロベースで地元と協議のうえ、方針を再検討することを求める。</p> <p>総務省の指針においても、総合管理計画の策定・改訂段階においても住民への十分な情報提供を行いながら進めることを求めている。個別の住民の利害に直結する個別実施計画や具体の事業段階に関しては言わずもがなであると思う。</p> <p>市当局は説明した旨を主張しているが、当該説明は、何の根拠もなく市の希望を表明しただけのものであり、地元としてこの段階で合意を求められたこともなければ、合意をしたという事実は一切ない。</p> <p>市議会でも地元合意はまだと答弁して丁寧な対応を求められた後も、一切地元対応することなく決定したものであると思う。</p>	1	<p>中央支所の整備方針につきましては、今後の人口減少社会等を踏まえ、過去に実施した説明会において、利用件数、建物の老朽化や一体施設である姫路東消防署の移転の状況等をはじめとした検討経緯を含め、必要な情報については関係する住民の皆様を提供を行ってまいりました。</p> <p>イーグレひめじへの移転後の事務所につきましては、市民の皆様が利用しやすい施設を目指すとともに、デジタル技術を活用した先進的な窓口について検討したいと考えております。</p>	68
----	--	---	--	----

21	<p>方向性の中に仏舍利塔の記述がないことに疑問がある。</p> <p>築年数 66 年という事実、施設の現況からみても言及の必要があるのではないか。</p> <p>そして、方向としては、「文化的・歴史的価値を踏まえたあり方を検討する」あるいは「利用者の協力も求め適切な修復に留意しつつ文化的・歴史的価値の継続を目指す」といった記述が望ましいと考える。</p> <p>美術館の方向性の記述に準じてはどうか。</p> <p>名古屋山霊苑・仏舍利塔は戦後復興の都市計画事業の中で、手柄山（特に全国空爆犠牲者慰霊塔）とともに本市の平和希求の象徴として尊重されるべきものである。</p> <p>また、政教分離の枠組みの中で、えい地・納骨堂利用者等と行政の霊苑経営の間のつなぎ役の側面も持つ名古屋山霊苑協会との協力について、今後の実行計画の中で考慮されたい。</p>	1	<p>仏舍利塔は、平和の象徴として市民や観光客から親しまれており、市としては観光資源の側面があると考えられます。</p> <p>ご意見を踏まえて、当該施設に関する今後の方向性について、以下のとおり追記いたします。</p> <p>【計画の修正】</p> <p>(1) 斎場・霊苑施設 P75</p> <p>(旧) -</p> <p>(新) <u>仏舍利塔については、観光資源としての側面を踏まえ、今後のあり方を検討します。</u></p>	75	○
22	<p>施設情報の判定について、霊苑の建築物部分に係る判定となっているが、名古屋山霊苑は墓地公園としての拠点利用がある。</p> <p>その中でも、管理事務所及び仏舍利塔については単純な利用等増減傾向の数値で判定すべきでない。</p> <p>現況整理の結果が施設の統廃合に直接結びつくものでないとのことであるが、実行計画において留意していただきたい。</p> <p>多死社会、供養の形態の変化など社会潮流及び市民ニーズを踏まえて検討すべきと考える。</p>	1	<p>施設情報につきましては、情報の見える化の観点から、計画策定時点での各施設の情報をを用いて、公共建築物の管理に関する基本方針に沿って現況を整理し、その結果を掲載しております。</p> <p>多種多様な施設の情報を一律の基準により整理しているため、現況整理の結果は絶対的なものではなく、また、今回の現況整理の結果が施設の統廃合等の方針に直接結びつくものではありません。</p> <p>施設のあり方を検討する際に、ご指摘いただきました社会潮流及び市民ニーズも踏まえて検討をしたいと考えております。</p>	75	

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（社会基盤施設）

23	社会基盤施設の改修削減計画に関して、海岸線で日本製鉄の工場付近のグリーンベルトについて、設備等古いため事故に繋がる可能性や防犯上の課題もあると思う。管理は大変であると思うが対応を検討願う。	1	姫路市緑の基本計画に掲げる基本方針に基づき、既存の公園緑地における老朽化施設のメンテナンスや改修、樹木の管理等、安全・安心な施設の維持管理に取り組んでまいります。	81
----	--	---	---	----